



# WDR インストールマニュアル

---

Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054 U.S.A.

Part No. 816-7269-10  
2002 年 9 月, Revision A

コメントの宛先: [docfeedback@sun.com](mailto:docfeedback@sun.com)

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サン・ロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	WDR Installation Guide Part No: 816-4820-10 Revision A
-----	--



# 目次

---

Sun Fire 15K、12K、6800、4810、4800、および 3800 システム上での WDR の動作条件	1
適切なバージョンの Solaris オペレーティングシステムのインストール	1
Solaris ソフトウェアのインストール場所	2
Solaris ソフトウェアのインストール情報	2
Sun Fire 15K/12K システム上での WDR のインストール	2
Sun Fire 15K/12K システムで DR の実行に必要なパッチ	2
CIMOM の動作と接続可能状態の確認	3
両方の SC 上で Solaris 8 2/02 オペレーティング環境が実行されている場合	3
両方の SC 上で Solaris 9 オペレーティング環境が実行されている場合	3
Solaris WBEM Services の起動	3
Sun Fire 15K および 12K でのインストール手順の実行	4
▼ WDR をインストールする前に、既存のバージョンの WDR をアンインストールする	4
▼ Web Installer を使用して WDR をインストールする	8
▼ Solaris サプリメント CD から WDR をインストールする	8
▼ pkgadd(1M) コマンドを使用して WDR をインストールする	8
▼ .mof ファイルをコンパイルする	11
Sun Fire 15K/12K システム上でのユーザーグループの設定	11

Sun Fire 6800、4810、4800、または 3800 システム上での WDR のインストール 13

必要条件 13

Midframe Service Processor (MSP) の必要条件 13

Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムの必要条件 14

ドメイン構成サーバー (DCS) 14

CIMOM の動作と接続可能状態の確認 14

Solaris 8 2/02 オペレーティング環境が実行されている MSP 上で確認する場合 14

Solaris 9 オペレーティング環境が実行されている MSP 上で確認する場合 15

Solaris WBEM Services の起動 15

Sun Fire 6800、4810、4800、および 3800 でのインストール手順の実行 15

- ▼ WDR をインストールする前に、既存のバージョンの WDR をアンインストールする 15
- ▼ Web Installer を使用して WDR をインストールする 20
- ▼ Solaris サプリメント CD から WDR をインストールする 20
- ▼ pkgadd(1M) コマンドを使用して WDR をインストールする 20
- ▼ WDR を構成する 24
- ▼ .mof ファイルをコンパイルする 24

プロセス表示の構成 25

Sun Fire 6800、4810、4800、または 3800 システム上でのユーザーグループの設定 26

# WDR のインストール

---

『WDR インストールマニュアル』は、以下の節から構成されています。

- 1 つ目の節では、WDR を実行するすべての Sun Fire システム (Sun Fire 15K/12K、6800、4810、4800、および 3800) に関するインストール時の注意事項について説明します。
- 2 つ目の節では、Sun Fire 15K/12K システムに WDR ソフトウェアをインストールするときに、ユーザーが入力するコマンドとシステムが表示するメッセージを示します。
- 3 つ目の節では、Sun Fire 6800、4810、4800、または 3800 システムに WDR ソフトウェアをインストールするときに、ユーザーが入力するコマンドとシステムが表示するメッセージを示します。

---

## Sun Fire 15K、12K、6800、4810、 4800、および 3800 システム上での WDR の動作条件

### 適切なバージョンの Solaris オペレーティングシ ステムのインストール

WDR は、Solaris 8 2/02 または Solaris 9 オペレーティング環境のいずれかが実行されている Sun Fire 15K、12K、6800、4810、4800、および 3800 システム上でのみ動作します。

## Solaris ソフトウェアのインストール場所

- Sun Fire 15K/12K システムの場合は、Solaris 8 2/02 または Solaris 9 オペレーティング環境のいずれかが、各システムコントローラ (SC) と各ドメインに正しくインストールされていることを確認します。
- Sun Fire 6800、4810、4800、または 3800 システムの場合は、Solaris 8 2/02 または Solaris 9 オペレーティング環境のいずれかが、*Midframe Service Processor (MSP)* と呼ばれる外部ホストと各ドメインに正しくインストールされていることを確認します。

---

注 – MSP のハードウェア要件とソフトウェア要件については、13 ページの「Midframe Service Processor (MSP) の必要条件」を参照してください。

---

## Solaris ソフトウェアのインストール情報

Solaris ソフトウェアのインストールに関する詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

- Solaris 8 2/02 日本語版 製品概要 (Part No. 816-2985-10)
- Solaris 9 日本語版 製品概要 (Part No. 816-4603-10)

---

# Sun Fire 15K/12K システム上での WDR のインストール

## Sun Fire 15K/12K システムで DR の実行に必要なパッチ

Sun Fire 15K/12K システムで Solaris 8 2/02 オペレーティング環境を実行している場合は、動的再構成を有効にするパッチもインストールする必要があります。パッチは、[sunsolve.sun.com](http://sunsolve.sun.com) からダウンロードすることができます。パッチのインストール方法については、『*Sun Fire 15K/12K Dynamic Reconfiguration Installation Guide and Release Notes, Solaris 8 2/02*』 (Part No. 816-5080-10) を参照してください。

Sun Fire 15K/12K システムで Solaris 9 オペレーティング環境を実行している場合は、動的再構成を有効にするパッチもインストールする必要があります。パッチおよび、Sun Fire 15K/12K システムにそのパッチをインストールする方法が記載されたマニュアルは、<http://www.sun.com/servers/highend/sunfire15k/> からダウンロードすることができます。

## CIMOM の動作と接続可能状態の確認

### 両方の SC 上で Solaris 8 2/02 オペレーティング環境が実行されている場合

スーパーユーザーとして SC にログインし、以下のコマンドを入力します。

```
# /etc/init.d/init.wbem status
```

“SMC server version 2.0.0 running on port 898.” というメッセージが表示された場合は、Solaris WBEM Services が実行され、接続可能な状態です。

しかし、“SMC server not running on port 898.” というメッセージが表示された場合は、以下のコマンドを入力して `smcboot` プロセスを調べます。

```
# ps -ef| /usr/xpg4/bin/grep -e smcboot
```

2 つの `smcboot` プロセスが表示された場合は、Solaris WBEM Services が実行され、接続可能な状態です。プロセスが表示されなかった場合は、Solaris WBEM Services を起動する必要があります。

### 両方の SC 上で Solaris 9 オペレーティング環境が実行されている場合

スーパーユーザーとして SC にログインし、以下のコマンドを入力します。

```
# /etc/init.d/init.wbem status
```

“Solaris Management Console server version 2.1.0 running on port 898.” というメッセージが表示された場合は、Solaris WBEM Services が実行され、接続可能な状態です。

しかし、“Solaris Management Console server not running on port 898.” というメッセージが表示された場合は、Solaris WBEM Services を起動する必要があります。

## Solaris WBEM Services の起動

スーパーユーザーとして、以下のコマンドを入力します。

```
# /etc/init.d/init.wbem start
```

## Sun Fire 15K および 12K でのインストール手順の実行

この節では、コマンドラインに入力するコマンドと、Sun Fire 15K/12K システムの両方の SC に WDR が正常にインストールされているときに画面に表示されるメッセージ内容をすべて示します。

### ▼ WDR をインストールする前に、既存のバージョンの WDR をアンインストールする

---

注 – 使用しているシステムにすでに WDR がインストールされている場合のみ、この節の手順を実行してください。初めて WDR をインストールする場合は、すぐに次の節に進んで、WDR パッケージをインストールしてください。

---

#### Web Installer または Solaris サプリメント CD を使用して WDR をインストールした場合

1. CIMOM が動作していることを確認します。3 ページの「CIMOM の動作と接続可能状態の確認」を参照してください。
2. スーパーユーザーとして /opt/SUNWWDR/bin ディレクトリにある wdrunconfig スクリプトを実行し、WDR CIM クラスをすべて削除します。

```
# cd /opt/SUNWWDR/bin
# ./wdrunconfig

Do you want to delete the WBEM DR CIM classes now? [y,n] y
Please enter the root password:
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasControllers"
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasMemory"
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasProcessors"
deleting class ":Solaris_DomainHasSlots"
deleting class ":Solaris_SlotHasSystemBoard"
deleting class ":Solaris_CHController"
deleting class ":Solaris_CHMemory"
deleting class ":Solaris_CHCPU"
deleting class ":Solaris_CHSystemBoard"
deleting class ":Solaris_WDRAttachmentPoint"
deleting class ":Solaris_XCDomain"
deleting class ":Solaris_WDRDomain"
deleting class ":Solaris_XCslot"
deleting class ":Solaris_WDRSlot"
deleting class ":Solaris_XCComponentRemove"
deleting class ":Solaris_XCComponentInsert"
```



```
deleting class ":Solaris_XCBoardPowerOn"
deleting class ":Solaris_XCBoardPowerOff"
deleting class ":Solaris_XCDomainConfigChange"
deleting class ":Solaris_XCDomainUp"
deleting class ":Solaris_XCDomainDown"
deleting class ":Solaris_XCDomainStop"
deleting class ":Solaris_XCDomainStateChange"
deleting class ":Solaris_XCEnvironmentalIndication"
deleting class ":Solaris_XCSystemBoardConfigChange"
deleting class ":Solaris_XCDomainIndication"
deleting class ":Solaris_WDRIndication"
deleting instance ":Solaris_ProviderPath.pathurl=
"file:///usr/sadm/lib/wbem/wdr.jar""
WBEM DR CIM classes have been removed successfully.
```

3. DISPLAY 変数が設定されていることを確認します。
4. Solaris 8 2/02 オペレーティング環境を実行している場合：
  - a. prodreg ユーティリティを実行します。
  - b. “WBEM DR” を選択します。
  - c. “Uninstall (アンインストール)” をクリックします。
  - d. “Next (次へ)” をクリックします。
  - e. “Full (全体的)” (デフォルト) を選択します。
  - f. “Next (次へ)” をクリックします。
  - g. “Uninstall Now (アンインストール開始)” をクリックします。
5. Solaris 9 オペレーティング環境を実行している場合：
  - a. cd /var/sadm/prod と入力します。
  - b. java uninstall\_WBEM\_DR\_1\_0 と入力します。
6. パッケージが正常に削除されたかどうかを確認します。

```
# pkginfo | /usr/xpg4/bin/grep -e SUNWWDrr -e SUNWWDRCfg -e
SUNWmcfg
#
```

### *pkgadd(1M)* コマンドを使用して WDR をインストールした場合

1. CIMOM が動作していることを確認します。3 ページの「CIMOM の動作と接続可能状態の確認」を参照してください。

2. スーパーユーザーとして /opt/SUNWDR/bin ディレクトリにある wdrunconfig スクリプトを実行し、WDR CIM クラスをすべて削除します。

```
# cd /opt/SUNWDR/bin
# ./wdrunconfig

Do you want to delete the WBEM DR CIM classes now? [y,n] y
Please enter the root password:
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasControllers"
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasMemory"
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasProcessors"
deleting class ":Solaris_DomainHasSlots"
deleting class ":Solaris_SlotHasSystemBoard"
deleting class ":Solaris_CHController"
deleting class ":Solaris_CHMemory"
deleting class ":Solaris_CHCPU"
deleting class ":Solaris_CHSystemBoard"
deleting class ":Solaris_WDRAttachmentPoint"
deleting class ":Solaris_XCDomain"
deleting class ":Solaris_WDRDomain"
deleting class ":Solaris_XCSlot"
deleting class ":Solaris_WDRSlot"
deleting class ":Solaris_XCComponentRemove"
deleting class ":Solaris_XCComponentInsert"
deleting class ":Solaris_XCBoardPowerOn"
deleting class ":Solaris_XCBoardPowerOff"
deleting class ":Solaris_XCDomainConfigChange"
deleting class ":Solaris_XCDomainUp"
deleting class ":Solaris_XCDomainDown"
deleting class ":Solaris_XCDomainStop"
deleting class ":Solaris_XCDomainStateChange"
deleting class ":Solaris_XCEnvironmentalIndication"
deleting class ":Solaris_XCSystemBoardConfigChange"
deleting class ":Solaris_XCDomainIndication"
deleting class ":Solaris_WDRIndication"
deleting instance ":Solaris_ProviderPath.pathurl=
"file:///usr/sadm/lib/wbem/wdr.jar"
WBEM DR CIM classes have been removed successfully.
```

3. SUNWDRcfg パッケージを削除します。

```
# pkgrm SUNWDRcfg

The following package is currently installed:
SUNWDRcfg  WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files
           (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Do you want to remove this package? [y,n,?,q] y
## Removing installed package instance <SUNWDRcfg>
```

This package contains scripts which will be executed with super-user permission during the process of removing this package.

```
Do you want to continue with the removal of this package
[y,n,?,q] y
## Verifying package dependencies.
## Processing package information.
## Removing pathnames in class <none>
/opt/SUNWWDRe/bin/wdrunconfig
/opt/SUNWWDRe/bin/wdrconfig
/opt/SUNWWDRe/bin/newwdrlog
/opt/SUNWWDRe/bin
/opt/SUNWWDRe
## Executing postremove script.
20 3 * * 6 /opt/SUNWWDRe/bin/newwdrlog # SUNWWDRecfg
## Updating system information.
```

Removal of <SUNWWDRecfg> was successful.

#### 4. SUNWWDRe パッケージを削除します。

```
# pkgrm SUNWWDRe

The following package is currently installed:
  SUNWWDRe Wbem Automatic Dynamic Reconfiguration
  (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Do you want to remove this package? y
## Removing installed package instance <SUNWWDRe>
## Verifying package dependencies.
## Processing package information.
## Removing pathnames in class <none>
/usr/sadm/mof/WDR_XC1.0.mof
/usr/sadm/mof/WDR_SG1.0.mof
/usr/sadm/mof/WDR_Core1.0.mof
/usr/sadm/mof <shared pathname not removed>
/usr/sadm/lib/wbem/wdr.jar
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr_xc.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr_sg.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr.so
/usr/sadm/lib/wbem <shared pathname not removed>
/usr/sadm/lib <shared pathname not removed>
/usr/sadm <shared pathname not removed>
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES/SUNW_WDR.mo
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES/SUNW_MCFG.mo
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES <shared pathname not removed>
```

```
/usr/lib/locale/C <shared pathname not removed>
/usr/lib/locale <shared pathname not removed>
/usr/lib <shared pathname not removed>
## Updating system information.
Removal of <SUNWWDrr> was successful.
```

5. パッケージが正常に削除されたかどうかを確認します。

```
# pkginfo | /usr/xpg4/bin/grep -e SUNWWDrr -e SUNWWDrcfg
#
```

### ▼ Web Installer を使用して WDR をインストールする

1. 新しいディレクトリにファイル wdr1.0.zip をダウンロードします。
2. その新しいディレクトリで、unzip wdr1.0.zip と入力します。
3. ./installer と入力して、表示されるプロンプトに従います。

### ▼ Solaris サプリメント CD から WDR をインストールする

1. CD-ROM ドライブに Solaris サプリメント CD を挿入します。
2. cd /cdrom/cdrom0/WBEM\_DR\_1.0 と入力します。
3. ./installer と入力して、表示されるプロンプトに従います。

### ▼ pkgadd(1M) コマンドを使用して WDR をインストールする

1. WDR パッケージが格納されているディレクトリに移動します。たとえば、以下のコマンドを入力します。

```
# cd /tmp/packages/wdr1.0
```
2. そのディレクトリに格納されているのは、以下の 3 つのパッケージだけであることを確認します。

```
# ls
SUNWWDrcfg  SUNWWDrr  SUNWmcfg
```
3. pkgadd(1M) コマンドを実行し、インストールプログラムのプロンプトに従って、SUNWWDrr と SUNWWDrcfg パッケージをこの順に追加します。

---

注 – SUNWmcfg パッケージは、Sun Fire 6800、4810、4800、および 3800 システムの場合にだけインストールします。

---

```
# pkgadd -d .
The following packages are available:
```

- 1 SUNWWDRCfg WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
- 2 SUNWWDrr WBEM Dynamic Reconfiguration  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
- 3 SUNWmcfg SunMC/WDR Management Workstation Shared Config  
File  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Select package(s) you wish to process (or 'all' to process all packages). (default: all) [?,??,q]: 2

Processing package instance <SUNWWDrr> from  
</ws/cadr1.0-gate/packages/sparc/wdr1.0\_28>

```
WBEM Dynamic Reconfiguration
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
Use is subject to license terms.
## Executing checkinstall script.
Using </usr> as the package base directory.
## Processing package information.
## Processing system information.
    8 package pathnames are already properly installed.
## Verifying package dependencies.
## Verifying disk space requirements.
## Checking for conflicts with packages already installed.
## Checking for setuid/setgid programs.
```

This package contains scripts which will be executed with super-user permission during the process of installing this package.

Do you want to continue with the installation of <SUNWWDrr>  
[y,n,?] y

Installing WBEM Dynamic Reconfiguration as <SUNWWDrr>

```
## Installing part 1 of 1.
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES/SUNW_MCFG.mo
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES/SUNW_WDR.mo
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr_sg.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr_xc.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/wdr.jar
/usr/sadm/mof/WDR_Core1.0.mof
/usr/sadm/mof/WDR_SG1.0.mof
/usr/sadm/mof/WDR_XC1.0.mof
[ verifying class <none> ]
## Executing postinstall script.
```

```

Installation of <SUNWWDrr> was successful.

The following packages are available:

1 SUNWWDrcfg WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files
    (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

2 SUNWWDrr WBEM Dynamic Reconfiguration
    (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

3 SUNWmcfg SunMC/WDR Management Workstation Shared Config File
    (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Select package(s) you wish to process (or 'all' to process
all packages). (default: all) [?,??,q]: 1

Processing package instance <SUNWWDrcfg> from
</ws/cadr1.0-gate/packages/sparc/wdr1.0_28>

WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
Use is subject to license terms.
Using </opt> as the package base directory.
## Processing package information.
## Processing system information.
## Verifying package dependencies.
## Verifying disk space requirements.
## Checking for conflicts with packages already installed.
## Checking for setuid/setgid programs.

This package contains scripts which will be executed with
super-user permission during the process of installing this
package.

Do you want to continue with the installation of <SUNWWDrcfg>
[y,n,?] y

Installing WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files as
<SUNWWDrcfg>

## Installing part 1 of 1.
/opt/SUNWWDrr/bin/newwdrlog
/opt/SUNWWDrr/bin/wdrconfig
/opt/SUNWWDrr/bin/wdrunconfig
[ verifying class <none> ]
## Executing postinstall script.

Installation of <SUNWWDrcfg> was successful.

The following packages are available:

1 SUNWWDrcfg WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files
    (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

```

```
2 SUNWWDrr    WBEM Dynamic Reconfiguration
               (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
3 SUNWmcfg    SunMC/WDR Management Workstation Shared Config File
               (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
```

Select package(s) you wish to process (or 'all' to process all packages). (default: all) [?,??,q]: q

4. WDR パッケージが正常に追加されたかどうかを調べます。

```
# pkginfo | /usr/xpg4/bin/grep -e SUNWWDrcfg -e SUNWWDrr
application SUNWWDrcfg  WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config
Files
application SUNWWDrr    WBEM Dynamic Reconfiguration
```

## ▼ .mof ファイルをコンパイルする

.mof ファイルをコンパイルする WDR スクリプトは `wdrconfig` という名前で、`/opt/SUNWWDrr/bin` ディレクトリにあります。以下のコマンドを入力します。

```
1. # cd /opt/SUNWWDrr/bin/
2. # ls
   newwdrlog  wdrconfig  wdrunconfig
3. # ./wdrconfig
Do you want to compile the MOF files now? [y,n] y
Enter root password:
Compiling Core MOF File
-----
Compilation succeeded.
Compiling Sun Fire 15k MOF File
-----
Compilation succeeded.
```

これでインストールプロセスは終了です。

## Sun Fire 15K/12K システム上でのユーザーグループの設定

Sun Fire 15K/12K システムコントローラでは、現在ログインしているユーザーが割り当てられているグループに関する情報が必要なときは、`/etc/group` ファイルを調べます。ユーザーが割り当てられているグループを変更するには、

/opt/SUNWSMS/bin/smsconfig スクリプトに適切な引数を指定して実行し、  
/etc/group ファイルを修正します。SMS セキュリティー、管理モデル、および  
Sun Fire 15K/12K システム上のグループについての詳細は、『System Management  
Services (SMS) 1.2 管理者マニュアル』(Part No. 816-7243) を参照してください。

ユーザーが実行できる操作は、そのユーザーが属しているグループによって異なります。  
Sun Fire 15K/12K システムのグループには、platadm、platoer、dmnxadm、  
および dmnxrcfg があります。グループ名に含まれている *x* は、ドメイン識別子で  
す。

- **platadm** グループに属しているユーザーは、ボードの割り当て、割り当て解除、  
電源投入、および電源切断を行うことができます。
- **platoer** グループに属しているユーザーには、特別な特権はありません。
- **dmnxadm** グループに属しているユーザーは、ドメイン *x* にある接続点を列挙で  
きます。さらに、そのユーザーがシステムのすべてのドメインで **dmnxadm** グ  
ループに属している場合には、すべての接続点を列挙することができます。ま  
た、接続点状態の変更、ドメイン *x* のアクセス制御リスト (ACL) にあるボードの  
割り当て、割り当て解除、電源投入、および電源切断を行うこともできます。
- **dmnxrcfg** グループに属しているユーザーは、ドメイン *x* にある接続点を列挙でき  
ます。さらに、そのユーザーがシステムのすべてのドメインで **dmnxrcfg** グル  
ープに属している場合には、すべての接続点を列挙することができます。また、接  
続点状態の変更、ドメイン *x* の ACL にあるボードの割り当て、割り当て解除、電  
源投入、および電源切断を行うこともできます。



---

# Sun Fire 6800、4810、4800、または 3800 システム上での WDR のインス トール

---

注 – Sun Fire 6800、4810、4800、および 3800 システムでは、WDR を SC 上にインストールすることはできません。WDR は Midframe Service Processor (MSP) 上にインストールします。

---

## 必要条件

WDR を Sun Fire 6800、4810、4800、または 3800 システム上にインストールする前に、MSP、システムドメイン、および SC で以下の要件がすべて満たされていることを確認します。

## Midframe Service Processor (MSP) の必要条件

### ソフトウェア要件

以下のいずれかがインストールされていることを確認します。

- Solaris 8 2/02 オペレーティング環境
- Solaris 9 オペレーティング環境

Solaris オペレーティング環境のマニュアルは、[docs.sun.com](http://docs.sun.com) からダウンロードできます。

### ハードウェア要件

MSP に必要な最小構成のハードウェア要件は、次のとおりです。

- sun4u アーキテクチャー
- 8 GB の空きディスク容量
- 128 MB のメモリー
- CD-ROM ドライブ
- SunSwift™ カード、または QuadFast Ethernet カード (推奨)

## Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムの必要条件

以下のいずれかが各ドメインにインストールされていることを確認します。

- Solaris 8 2/02 オペレーティング環境
- Solaris 9 オペレーティング環境

以下のソフトウェアが SC にインストールされていることを確認します。

- バージョン 5.13.0 のシステムコントローラ (SC) ソフトウェア

## ドメイン構成サーバー (DCS)

DCS が Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムにインストールされて動作中であることを、以下の手順で確認します。

1. 以下のコマンドを入力して、DCS パッケージがインストールされているかどうかを調べます。

```
# pkginfo | grep dcs
```

以下のメッセージが表示されたときは、DCS パッケージはインストールされています。

```
system SUNWdcsr Domain Configuration Server, (Root)
```

```
system SUNWdcsu Domain Configuration Server
```

2. DCS パッケージがインストールされていない場合は、pkgadd(1M) コマンドを使用して、SUNWdcsr と SUNWdcsu パッケージを追加します。

## CIMOM の動作と接続可能状態の確認

### Solaris 8 2/02 オペレーティング環境が実行されている MSP 上で確認する場合

スーパーユーザーとして MSP にログインし、以下のコマンドを入力します。

```
# /etc/init.d/init.wbem status
```

“SMC server version 2.0.0 running on port 898.” というメッセージが表示された場合は、Solaris WBEM Services が実行され、接続可能な状態です。

しかし、“SMC server not running on port 898.” というメッセージが表示された場合は、以下のコマンドを入力して smcboot プロセスを調べます。

```
# ps -ef | /usr/xpg4/bin/grep -e smcboot
```

2つの smcboot プロセスが表示された場合は、Solaris WBEM Services が実行され、接続可能な状態です。プロセスが表示されなかった場合は、Solaris WBEM Services を起動する必要があります。

## Solaris 9 オペレーティング環境が実行されている MSP 上で確認する場合

スーパーユーザーとして MSP にログインし、以下のコマンドを入力します。

```
# /etc/init.d/init.wbem status
```

“Solaris Management Console server version 2.1.0 running on port 898.” というメッセージが表示された場合は、Solaris WBEM Services が実行され、接続可能な状態です。

しかし、“Solaris Management Console server not running on port 898.” というメッセージが表示された場合は、Solaris WBEM Services を起動する必要があります。

## Solaris WBEM Services の起動

スーパーユーザーとして、以下のコマンドを入力します。

```
# /etc/init.d/init.wbem start
```

## Sun Fire 6800、4810、4800、および 3800 でのインストール手順の実行

この節では、コマンドラインに入力するコマンドと、Sun Fire 6800、4810、4800、または 3800 システムの両方の SC で WDR が正常にインストールされているときに画面に表示されるメッセージ内容をすべて示します。

### ▼ WDR をインストールする前に、既存のバージョンの WDR をアンインストールする

---

注 – 使用しているシステムにすでに WDR がインストールされている場合のみ、この節の手順を実行してください。初めて WDR をインストールする場合は、すぐに次の節に進んで、WDR パッケージをインストールしてください。

---

## Web Installer または Solaris サプリメント CD を使用して WDR をインストールした場合

1. CIMOM が動作していることを確認します。14 ページの「CIMOM の動作と接続可能状態の確認」を参照してください。
2. スーパーユーザーとして /opt/SUNWWDR/bin ディレクトリにある wdrunconfig スクリプトを実行し、WDR CIM クラスをすべて削除します。

```
# cd /opt/SUNWWDR/bin
# ./wdrunconfig
```

```
Do you want to delete the WBEM DR CIM classes now? [y,n] y
```

```
Please enter the root password:
```

```
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasControllers"
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasMemory"
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasProcessors"
deleting class ":Solaris_DomainHasSlots"
deleting class ":Solaris_SlotHasSystemBoard"
deleting class ":Solaris_CHController"
deleting class ":Solaris_CHMemory"
deleting class ":Solaris_CHCPU"
deleting class ":Solaris_CHSystemBoard"
deleting class ":Solaris_WDRAttachmentPoint"
deleting class ":Solaris_XCDomain"
deleting class ":Solaris_WDRDomain"
deleting class ":Solaris_XCSlot"
deleting class ":Solaris_WDRSlot"
deleting class ":Solaris_XCComponentRemove"
deleting class ":Solaris_XCComponentInsert"
deleting class ":Solaris_XCBoardPowerOn"
deleting class ":Solaris_XCBoardPowerOff"
deleting class ":Solaris_XCDomainConfigChange"
deleting class ":Solaris_XCDomainUp"
deleting class ":Solaris_XCDomainDown"
deleting class ":Solaris_XCDomainStop"
deleting class ":Solaris_XCDomainStateChange"
deleting class ":Solaris_XCEnvironmentalIndication"
deleting class ":Solaris_XCSystemBoardConfigChange"
deleting class ":Solaris_XCDomainIndication"
deleting class ":Solaris_WDRIndication"
deleting instance ":Solaris_ProviderPath.pathurl=
"file:///usr/sadm/lib/wbem/wdr.jar"
WBEM DR CIM classes have been removed successfully.
```

3. DISPLAY 変数が設定されていることを確認します。
4. Solaris 8 2/02 オペレーティング環境を実行している場合：

- a. prodreg ユーティリティを実行します。
  - b. “WBEM DR” を選択します。
  - c. “Uninstall (アンインストール)” をクリックします。
  - d. “Next (次へ)” をクリックします。
  - e. “Full (全体的)” (デフォルト) を選択します。
  - f. “Next (次へ)” をクリックします。
  - g. “Uninstall Now (アンインストール開始)” をクリックします。
5. Solaris 9 オペレーティング環境を実行している場合：
- a. `cd /var/sadm/prod` と入力します。
  - b. `java uninstall_WBEM_DR_1_0` と入力します。
6. パッケージが正常に削除されたかどうかを確認します。
- ```
# pkginfo | /usr/xpg4/bin/grep -e SUNWWDrr -e SUNWWDrcfg -e
SUNWmcfg
#
```

### *pkgadd (1M)* コマンドを使用して WDR をインストールした場合

1. CIMOM が動作していることを確認します。3 ページの「CIMOM の動作と接続可能状態の確認」を参照してください。
2. スーパーユーザーとして /opt/SUNWWDrr/bin ディレクトリにある wdrunconfig スクリプトを実行し、WDR CIM クラスをすべて削除します。

```
# cd /opt/SUNWWDrr/bin
# ./wdrunconfig

Do you want to delete the WBEM DR CIM classes now? [y,n] y
Please enter the root password:
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasControllers"
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasMemory"
deleting class ":Solaris_SystemBoardHasProcessors"
deleting class ":Solaris_DomainHasSlots"
deleting class ":Solaris_SlotHasSystemBoard"
deleting class ":Solaris_CHController"
deleting class ":Solaris_CHMemory"
deleting class ":Solaris_CHCPU"
deleting class ":Solaris_CHSystemBoard"
deleting class ":Solaris_WDRAttachmentPoint"
deleting class ":Solaris_XCDomain"
```

```

deleting class ":Solaris_WDRDomain"
deleting class ":Solaris_XCSlot"
deleting class ":Solaris_WDRSlot"
deleting class ":Solaris_XCComponentRemove"
deleting class ":Solaris_XCComponentInsert"
deleting class ":Solaris_XCBoardPowerOn"
deleting class ":Solaris_XCBoardPowerOff"
deleting class ":Solaris_XCDomainConfigChange"
deleting class ":Solaris_XCDomainUp"
deleting class ":Solaris_XCDomainDown"
deleting class ":Solaris_XCDomainStop"
deleting class ":Solaris_XCDomainStateChange"
deleting class ":Solaris_XCEnvironmentalIndication"
deleting class ":Solaris_XCSystemBoardConfigChange"
deleting class ":Solaris_XCDomainIndication"
deleting class ":Solaris_WDRIndication"
deleting instance ":Solaris_ProviderPath.pathurl=
"file:///usr/sadm/lib/wbem/wdr.jar""
WBEM DR CIM classes have been removed successfully.

```

### 3. SUNWWDRCfg パッケージを削除します。

```

# pkgrm SUNWWDRCfg

The following package is currently installed:
  SUNWWDRCfg  WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files
              (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Do you want to remove this package? [y,n,?,q] y
## Removing installed package instance <SUNWWDRCfg>

This package contains scripts which will be executed with
super-user permission during the process of removing this
package.

Do you want to continue with the removal of this package
[y,n,?,q] y
## Verifying package dependencies.
## Processing package information.
## Removing pathnames in class <none>
/opt/SUNWWDRCfg/bin/wdrunconfig
/opt/SUNWWDRCfg/bin/wdrconfig
/opt/SUNWWDRCfg/bin/newwdrlog
/opt/SUNWWDRCfg/bin
/opt/SUNWWDRCfg
## Executing postremove script.
20 3 * * 6 /opt/SUNWWDRCfg/bin/newwdrlog # SUNWWDRCfg
## Updating system information.

Removal of <SUNWWDRCfg> was successful.

```

4. SUNWWDrr パッケージを削除します。

```
# pkgrm SUNWWDrr

The following package is currently installed:
  SUNWWDrr WBEM Dynamic Reconfiguration
          (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Do you want to remove this package? [y,n,?,q] y
## Removing installed package instance <SUNWWDrr>
## Verifying package dependencies.
## Processing package information.
## Removing pathnames in class <none>
/usr/sadm/mof/WDR_XC1.0.mof
/usr/sadm/mof/WDR_SG1.0.mof
/usr/sadm/mof/WDR_Core1.0.mof
/usr/sadm/mof <shared pathname not removed>
/usr/sadm/lib/wbem/wdr.jar
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr_xc.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr_sg.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr.so
/usr/sadm/lib/wbem <shared pathname not removed>
/usr/sadm/lib <shared pathname not removed>
/usr/sadm <shared pathname not removed>
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES/SUNW_WDR.mo
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES/SUNW_MCFG.mo
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES <shared pathname not removed>
/usr/lib/locale/C <shared pathname not removed>
/usr/lib/locale <shared pathname not removed>
/usr/lib <shared pathname not removed>
## Updating system information.

Removal of <SUNWWDrr> was successful.
```

5. SUNWmcfg パッケージを削除します。

```
# pkgrm SUNWmcfg

The following package is currently installed:
SUNWmcfg SunMC / WDR Management Workstation Shared
Configuration File
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Do you want to remove this package? [y,n,?,q] y
## Removing installed package instance <SUNWmcfg>

This package contains scripts which will be executed with
super-user permission during the process of removing this
package.
```

```

Do you want to continue with the removal of this package
[Y,n,?,q] y
## Verifying package dependencies.
## Processing package information.
## Executing preremove script.
## Removing pathnames in class <none>
/opt/SUNWmcfg/lib/libmcfg.so.1
/opt/SUNWmcfg/lib/libmcfg.so
/opt/SUNWmcfg/lib
/opt/SUNWmcfg/bin/setconfigfile
/opt/SUNWmcfg/bin/mcfgconfig
/opt/SUNWmcfg/bin
/opt/SUNWmcfg
## Updating system information.

Removal of <SUNWmcfg> was successful.

```

6. パッケージが正常に削除されたかどうかを確認します。

```

# pkginfo | /usr/xpg4/bin/grep -e SUNWWDrr -e SUNWWDrcfg -e
SUNWmcfg
#

```

### ▼ Web Installer を使用して WDR をインストールする

1. 新しいディレクトリにファイル wdr1.0.zip をダウンロードします。
2. その新しいディレクトリで、unzip wdr1.0.zip と入力します。
3. ./installer と入力して、表示されるプロンプトに従います。

### ▼ Solaris サプリメント CD から WDR をインストールする

1. CD-ROM ドライブに Solaris サプリメント CD を挿入します。
2. cd /cdrom/cdrom0/WBEM\_DR\_1.0 と入力します。
3. ./installer と入力して、表示されるプロンプトに従います。

### ▼ pkgadd (1M) コマンドを使用して WDR をインストールする

1. WDR パッケージが格納されているディレクトリに移動します。たとえば、以下のコマンドを入力します。  
# cd /tmp/packages/wdr1.0
2. そのディレクトリに格納されているのは、以下の 3 つのパッケージだけであることを確認します。  
# ls  
SUNWWDrcfg SUNWWDrr SUNWmcfg



3. pkgadd(1M) コマンドを実行し、インストールプログラムのプロンプトに従って、SUNWWDrr、SUNWWDrcfg、および SUNWmcfg パッケージをこの順に追加します。

```
# pkgadd -d .
```

```
The following packages are available:
```

- ```
1 SUNWWDrcfg  WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files
                (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
2 SUNWWDrr    WBEM Dynamic Reconfiguration
                (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
3 SUNWmcfg    SunMC/WDR Management Workstation Shared Config File
                (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
```

```
Select package(s) you wish to process (or 'all' to process
all packages). (default: all) [?,??,q]: 2
```

```
Processing package instance <SUNWWDrr> from </ws/cadr1.0-
gate/packages/sparc/wdr1.0_28>
```

```
WBEM Dynamic Reconfiguration
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
Use is subject to license terms.
## Executing checkinstall script.
Using </usr> as the package base directory.
## Processing package information.
## Processing system information.
    8 package pathnames are already properly installed.
## Verifying package dependencies.
## Verifying disk space requirements.
## Checking for conflicts with packages already installed.
## Checking for setuid/setgid programs.
```

```
This package contains scripts which will be executed with
super-user permission during the process of installing this
package.
```

```
Do you want to continue with the installation of <SUNWWDrr>
[y,n,?] y
```

```
Installing WBEM Dynamic Reconfiguration as <SUNWWDrr>
```

```
## Installing part 1 of 1.
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES/SUNW_MCFG.mo
/usr/lib/locale/C/LC_MESSAGES/SUNW_WDR.mo
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr_sg.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/libwdr_xc.so.1
/usr/sadm/lib/wbem/wdr.jar
/usr/sadm/mof/WDR_Core1.0.mof
```

```

/usr/sadm/mof/WDR_SG1.0.mof
/usr/sadm/mof/WDR_XC1.0.mof
[ verifying class <none> ]
## Executing postinstall script.

Installation of <SUNWWDrr> was successful.

The following packages are available:

1 SUNWWDrcfg WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files
      (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

2 SUNWWDrr WBEM Dynamic Reconfiguration
      (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

3 SUNWmcfg SunMC/WDR Management Workstation Shared Config File
      (sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Select package(s) you wish to process (or 'all' to process
all packages). (default: all) [?,??,q]: 1

Processing package instance <SUNWWDrcfg> from </ws/cadr1.0-
gate/packages/sparc/wdr1.0_28>

WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
Use is subject to license terms.
Using </opt> as the package base directory.
## Processing package information.
## Processing system information.
## Verifying package dependencies.
## Verifying disk space requirements.
## Checking for conflicts with packages already installed.
## Checking for setuid/setgid programs.

This package contains scripts which will be executed with
super-user permission during the process of installing this
package.

Do you want to continue with the installation of <SUNWWDrcfg>
[y,n,?] y

Installing WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files as
<SUNWWDrcfg>

## Installing part 1 of 1.
/opt/SUNWWDrr/bin/newwdrlog
/opt/SUNWWDrr/bin/wdrconfig
/opt/SUNWWDrr/bin/wdrunconfig
[ verifying class <none> ]
## Executing postinstall script.

```

Installation of <SUNWWDRCfg> was successful.

The following packages are available:

- 1 SUNWWDRCfg WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
- 2 SUNWWDrr WBEM Dynamic Reconfiguration  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
- 3 SUNWmcfg SunMC/WDR Management Workstation Shared Config File  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Select package(s) you wish to process (or 'all' to process all packages). (default: all) [?,??,q]: 3

Processing package instance <SUNWmcfg> from  
</net/twinsun.west/export/workspace/d4/issakov/cadr1.0-packages/wdr1.0\_28>

SunMC / WDR Management Workstation Shared Configuration File  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Use is subject to license terms.

Using </opt> as the package base directory.

## Processing package information.

## Processing system information.

## Verifying package dependencies.

## Verifying disk space requirements.

## Checking for conflicts with packages already installed.

## Checking for setuid/setgid programs.

Installing SunMC / WDR Management Workstation Shared Configuration File as <SUNWmcfg>

## Installing part 1 of 1.

/opt/SUNWmcfg/bin/mcfgconfig

/opt/SUNWmcfg/bin/setconfigfile

/opt/SUNWmcfg/lib/libmcfg.so <symbolic link>

/opt/SUNWmcfg/lib/libmcfg.so.1

[ verifying class <none> ]

Installation of <SUNWmcfg> was successful.

The following packages are available:

- 1 SUNWWDRCfg WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config Files  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
- 2 SUNWWDrr WBEM Dynamic Reconfiguration  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34
- 3 SUNWmcfg SunMC/WDR Management Workstation Shared Config File  
(sparc) 1.0.0,REV=2002.05.24.16.34

```
Select package(s) you wish to process (or 'all' to process
all packages). (default: all) [?,??,q]: q
```

4. WDR パッケージが正常に追加されたかどうかを調べます。

```
# pkginfo | /usr/xpg4/bin/grep -e SUNWWDRCfg -e SUNWWDrr -e
SUNWmcfg
application SUNWWDRCfg WBEM-Based Dynamic Reconfiguration Config
Files
application SUNWWDrr WBEM Dynamic Reconfiguration
application SUNWmcfg SunMC / WDR Management Workstation Shared
Configuration File
```

## ▼ WDR を構成する

以下のコマンドを入力します。

```
# /opt/SUNWmcfg/bin/mcfgconfig

Do you want to configure the shared config file now? [yes]

Initiate Shared Configuration File
-----
SC IP Address or Hostname: <my_SC_hostname>
platformRComm: P-public
platformWComm: P-private
domainA IP Address or Hostname: <my_domain_A_hostname>
domainB IP Address or Hostname:
domainC IP Address or Hostname: <my_domain_C_hostname>
domainD IP Address or Hostname:
#
```

---

注 - 上記の P-public および P-private コミュニティースtringは、デフォルトの SNMP コミュニティースtringです。実際に入力するときは、使用している SC に設定されているコミュニティースtringを入力してください。

---

## ▼ .mof ファイルをコンパイルする

.mof ファイルをコンパイルする WDR スクリプトは `wdrconfig` という名前で、`/opt/SUNWWDrr/bin` ディレクトリにあります。以下のコマンドを入力します。

1. # `cd /opt/SUNWWDrr/bin/`
2. # `ls`  
`newwdrlog wdrconfig wdrunconfig`
3. `wdrconfig` スクリプトを実行します。

---

注 - WDR をインストールする MSP 上で Sun MC Platform Agent を実行している場合は、2 つのトラップポートにトラップを送信するように SC を構成する必要があります。このトラップポートの一方は Sun MC Platform Agent (デフォルトポート: 162) 用で、もう一方は WDR 用 (これは、以下の SCTrapPort の構成の際に使用されるポート番号) です。

---

```
# ./wdrconfig
Initiate WDR Configuration File
-----
SCTrapPort[162]:
SCTrapPort value set to 162 in
/var/opt/SUNWWDR/cfg/serengeti-wdr-cfg.dat
Do you want to compile the MOF files now? [y,n] y
Enter root password:
Compiling Core MOF File
-----
Compilation succeeded.
Compiling Serengeti MOF File
-----
Compilation succeeded.
```

これでインストールプロセスは終了です。

## プロセス表示の構成

Sun Fire 6800、4810、4800、または 3800 システムでプロセス表示を受け取るには、WDR WBEM Provider と Sun MC プラットフォーム側エージェントの両方にトラップを送信するよう SC を構成する必要があります。どちらも同じホストにインストールされている場合は、それぞれに異なるポートを使用する必要があります。

以下の作業を実行します。

- トラップを Midframe Service Processor (MSP) に送信するように、各ドメインが構成されていることを確認します。構成方法については、『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムプラットフォーム管理ガイド』(Part No. 806-7904) を参照してください。
  - `setupdomain(1M)` コマンドを使って、各ドメインにトラップホストとコミュニケーションストリングを設定します。
  - `setupplatform(1M)` コマンドを使って、SC にトラップホストとコミュニケーションストリングを設定します。
- トラップを受け取っていることを確認するには、以下のコマンドを実行して、MSP 上でトラップ用に構成されているトラップポートをスヌープします。

```
snoop port trap_port
```

- クライアントのサブスクリプションハンドラが、Solaris\_RMIDelivery クラスのインスタンスであることを確認します。このクラスについては、『WDR 開発ガイド』を参照してください。

## Sun Fire 6800、4810、4800、または 3800 システム上でのユーザーグループの設定

Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムコントローラでは、現在ログインしているユーザーが割り当てられているグループに関する情報が必要なときは、`/etc/group` ファイルを調べます。ユーザーが割り当てられているグループを変更するには、`/etc/group` ファイルを手動で修正します。

ユーザーが実行できる操作は、そのユーザーが属しているグループによって異なります。すべてのユーザーは、Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システム上のドメインおよびスロットを列挙することができます。

Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムのグループには、`spltdmn`、`spltop`、`sdxadm`、および `sdxop` があります。グループ名に含まれている `x` は、ドメイン識別子です。

- `spltdmn` グループに属しているユーザーは、ボードの割り当てと割り当て解除を行うことができます。
- `spltop` グループに属しているユーザーには、特別な特権はありません。
- `sdxadm` グループに属しているユーザーは、ドメイン `x` にある接続点を列挙できます。さらに、そのユーザーがシステムのすべてのドメインで `sdxadm` グループに属している場合には、すべての接続点を列挙することができます。また、接続点状態の変更、ドメイン `x` の ACL にあるボードの割り当て、割り当て解除、電源投入、および電源切断を行うこともできます。
- `sdxop` グループに属しているユーザーは、ドメイン `x` にある接続点を列挙できます。さらに、そのユーザーがシステムのすべてのドメインで `sdxop` グループに属している場合には、すべての接続点を列挙することができます。